

2021年3月16日

## 情報公開文書

### 亀岡市在住高齢者を対象とした京都・亀岡スタディ「Kyoto-Kameoka Study」 に参加ご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究課題「京都・亀岡スタディ」（実施者：京都府立医科大学・京都先端科学大学（旧校名・京都学園大学）・亀岡市）でご提供頂きました情報を、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所において下記の目的のため使用させていただきます。ご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご自身が提供された情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われた場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その情報の利用を停止します。

#### 研究課題名

亀岡市在住高齢者を対象とした京都・亀岡スタディ「Kyoto-Kameoka Study」によって得られたデータの解析

#### 研究責任者

吉田 司：医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部・研究員

#### 共同研究機関の研究責任者

藤田 裕之：京都先端科学大学アクティブヘルス支援機構長  
同バイオ環境学部 教授

#### 研究の目的・方法

本研究は、食事や身体活動などの生活習慣と高齢者のフレイル・サルコペニア等の要介護の要因となる症状との関連を明らかにすることを目的に、亀岡市在住高齢者を対象とした京都・亀岡スタディ「Kyoto-Kameoka Study」から得られた情報を用いて横断的・縦断的に解析します。併せて、食事や運動項目などの妥当性の検討及びフレイル・サルコペニア・要介護発症に関連する評価法の探索を行いたいと考えております。

#### 利用する情報

① ベースライン調査（2011年7～8月実施）

健康や社会環境などに関する質問紙による日常生活圏域ニーズ調査および基本チェックリスト

② ベースライン調査を補完する追加調査（2012年2月実施）

環境、食事、口腔などに関する質問紙による調査・身体活動量調査

③ 身体機能（体力）調査（2012年3～4月実施）

体格・身体組成・体力などの対面での調査および質問紙による調査

④ 介入研究（多要素総合型介護予防プログラムの介入）（2012年5月～2013年12月実施）

介入研究実施時における各種取得データ

⑤ 追跡調査や各種統計データと結合された縦断データ

### **情報の収集期間および研究期間**

2011年～2013年の期間に「亀岡市在住高齢者を対象とした京都・亀岡スタディ「Kyoto-Kameoka Study」への研究参加に同意頂いた方から得られた情報を研究対象とします。

この研究課題の研究期間は2021年3月16日から2025年3月31日までです。

### **個人情報の取り扱い**

個人情報（対応表）は亀岡市高齢福祉課が保有し、現在、京都先端科学大学においては匿名化された情報のみを保有しております。医薬基盤・健康・栄養研究所には個人を特定できる情報は提供されません。

### **お問い合わせ先**

医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部

吉田司

〒162-8636 東京都新宿区戸山 1-23-1

電話 03-3203-8061